



福岡女学院看護大学大学院

GRADUATE SCHOOL OF FUKUOKA JO GAKUIN NURSING UNIVERSITY

看護学研究科 看護学専攻 修士課程



研究科長挨拶

豊かな人間性と愛の精神を育み、
充実した実習で専門的な知識や技術を培います



大学院看護学研究科長
片野 光男

福岡女学院はキリスト教の精神に基づく女子教育を建学の理念として開学し、間もなく140年を迎えます。現在は、幼稚園から大学までを擁する総合学院に成長し、2008年に看護・医療での社会貢献を希求し看護大学(本学)を開設しました。本学では、他大学との競争ではなく、「本学だからできる」「本学がすべき」をモットーに、独自の領域横断的な看護教育開発(ミッションモデル)を意識して進めています。その一つが「看護に特化した開放型シミュレーション教育センター(2016年)」開設と「看護シミュレーション教育学領域(2017年)」の新設です。ミッションモデル開発を進める中で、独自のICT教材(ミッションタウン)、学生参加型教育システム、開放型生涯学習教育システム、他施設との連携教育システム、看護OSCEセンターなどが次々と生まれています。

次なるステップとして教員・研究者養成を通して本邦の看護教育の質の向上と均てん化(特に、シミュレーション教育)への貢献を目指し、2023年度に「領域横断的な指導体制」と「充実した開放型教育・研究施設」を整備した大学院(修士課程)を開設しました。

ぜひ、本学の門を叩いてください。共に明日の看護教育に想いを馳せ学びましょう。

大学院の概要

名称	福岡女学院看護大学大学院
研究科専攻	看護学研究科看護学専攻
授与する学位	修士(看護学)
入学定員	3名
修業年限	2年(長期履修制度あり)
所在地	福岡県古賀市千鳥1-1-7
設立年月	2023(令和5)年4月

福岡女学院看護大学の沿革

2008年	福岡女学院看護大学開学(古賀市千鳥)
2016年	シミュレーション教育センター設置
2023年	福岡女学院看護大学大学院開設

シミュレーション教育を中心とした 看護学教育が実践できる教育者・研究者を育成します。

福岡女学院看護大学大学院の目的

看護・保健医療分野に関する学問についての学術の理論及び応用を教授・研究し、その深奥を極め、看護・保健・医療・福祉の質の向上に貢献する人材を育成すること

養成を目指す人材像

1 看護系大学および看護師等養成所において看護学の教育者・研究者として寄与できる人材

2 多様な場においてシミュレーション教育を中心とした新しい看護学教育の技法を柔軟に活用できる人材

3 病院等の施設においてシミュレーション教育を取り入れた若手職員の育成を担う人材

看護系大学および看護師等養成機関における看護学の教育者・研究者の育成

多様な場でシミュレーション教育を実践するリーダー育成

看護教育学の拠点形成・成果を社会へ還元

学位授与の方針 [ディプロマ・ポリシー]

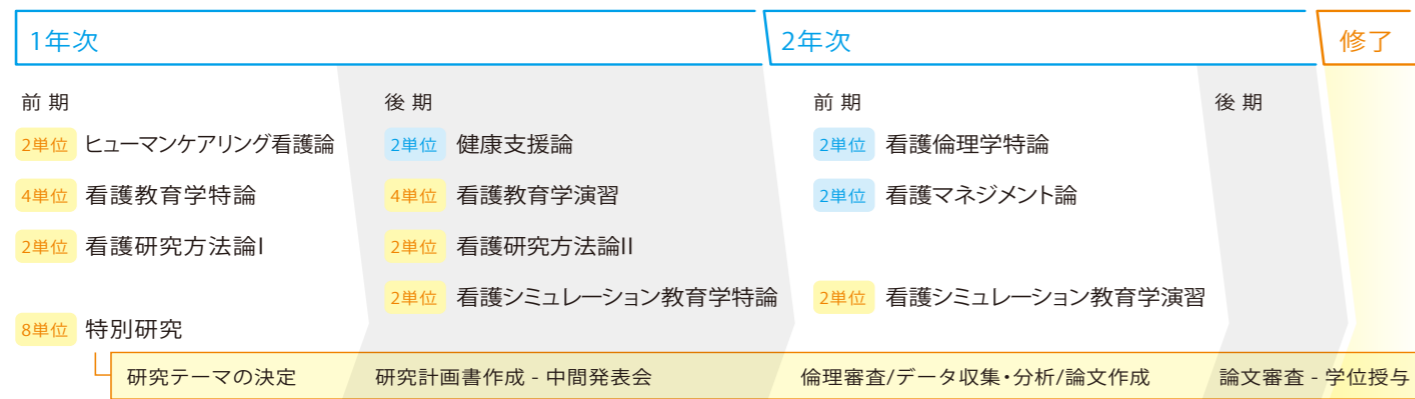
- 1 ヒューマンケアリングに基づき、他者に関心を持ち、自ら進んで看護専門分野の課題に取り組む能力(主体的な学び・態度・志向性)
- 2 さまざまな専門職と協働し、リーダーシップを発揮できる能力(協働)
- 3 シミュレーション教育に関する知見を体系的に収集し理解する能力(知識・理解)
- 4 グローバルな視点をもって、看護専門分野の研究および実践の動向を把握し、批判的に吟味し、統合する能力(適用・分析)
- 5 高度化する医療と社会現象を捉え看護教育に適応させる能力(適用・分析)
- 6 看護専門分野に関する多様な現象から課題を見出し、シミュレーション教育を実践し研究的に取り組める能力(実践)
- 7 研究結果を分析・評価し、今後の展望を踏まえて論文としてまとめる能力(評価・創造)

教育課程の編成・実施の基本方針 [カリキュラム・ポリシー]

質の高いシミュレーション教育を中心とした看護学教育を実践する教育者・研究者が身に付けるべき資質・能力を修得するためのカリキュラム・ポリシーは以下の通りです。

- 1 ヒューマンケアリングに基づき、他者に関心を持ち、自ら進んで看護専門分野の課題に取り組む能力を養成する科目
(主体的な学び・態度・志向性)
- 2 さまざまな専門職と協働し、リーダーシップを発揮できる能力を養成する科目
(協働)
- 3 シミュレーション教育に関する知見を体系的に収集し理解する能力を養成する科目
(知識・理解)
- 4 グローバルな視点をもって、看護専門分野の研究および実践の動向を把握し、批判的に吟味し、統合する能力を養成する科目
(適用・分析)
- 5 高度化する医療と社会現象を捉え看護学教育に適応させる能力を養成する科目
(適用・分析)
- 6 看護専門分野に関する多様な現象から課題を見出し、シミュレーション教育を実践し研究的に取り組める能力を養成する科目
(実践)
- 7 研究結果を分析・評価し、今後の展望を踏まえて論文としてまとめる能力を養成する科目
(評価・創造)

履修モデル 必修科目 選択科目



修了要件 [30単位以上]

- 必修科目から26単位、選択科目から4単位以上を修得すること
- 本大学院が行う修士論文の審査及び最終試験に合格すること



受験生へのメッセージ

大学院の講義では、少人数のため教員と学生で意見交換しながら、教育学や看護研究について基礎から学ぶことができます。また、年齢や経験、研究分野も異なる同期と意見を交わすことで、新たな知見を得ることができます。

子育て、仕事を両立しながら勉強することは大変ですが、先生方が親身に寄り添って指導して下さるので、自己の研究をじっくり深める事ができる環境です。

研究分野の概要

シミュレーション 教育学	<ul style="list-style-type: none"> ● シミュレーション教育学では、看護学教育において効果的な教育実践に必要な知識・技術を身につけ、教材設計や教材開発及び評価方法を体系的に学び、知見を深める。さらに、シミュレーション教育、eラーニング、ICT教材などを活用した看護学教育実践に関する研究課題に取り組み、修士論文作成の一連の研究プロセスを教授する。
基礎看護学	<ul style="list-style-type: none"> ● 看護技術、看護管理、ヒューマンケアリングに関する研究、その他、基礎看護学分野において各自が関心を寄せる看護をテーマとする研究課題をもとに、修士論文作成の一連の研究プロセスを教授する。 ● 看護の基盤となる「人間と環境」を中心テーマとして、人間と情報環境、生命科学教育、環境微生物を研究課題として修士論文作成の一連の研究プロセスを教授する。
成人看護学	<ul style="list-style-type: none"> ● 成人看護学に関するシミュレーション教育等、アクティブ・ラーニングの実践・評価、がん看護を研究課題とした修士論文への一連の研究プロセスを教授する。 ● 全人的な視点からみたがん医療と緩和ケアに関するICT教材（ミッションタウン）を活用した看護教育の研究課題をもとに修士論文への一連の研究プロセスを教授する。
老年看護学	<ul style="list-style-type: none"> ● 老年看護実践につながる概念やモデルの理解を深めるとともに、国内外の社会的動向や教育および研究の現状を分析的に探究する。その上で高齢者の生涯発達と適応、End-of-Life-Care、尊厳を守る看護実践、高齢者ケアに従事する看護職のストレスマネジメントなど老年看護における質向上を目指した研究テーマに基づき修士論文執筆に係る研究のプロセスを支援する。
母性・小児看護学	<ul style="list-style-type: none"> ● 母性小児領域に関するシミュレーション教育学や他の教授法の元、助産学・教育学での効果的な教育・実践指導（学生、臨床での患者・スタッフ）での課題に取り組み修士論文への一連の研究プロセスを教授する。 ● Women's Health/Reproductive Health、周産期のケア、新生児・乳幼児の環境適応と育児支援等の課題 ● 養育期の家族機能や世代間における子育て支援、病気や障害をもつ子どもと家族の支援、医療的ケアが必要な在宅療養児と家族の支援等の課題
精神看護学	<ul style="list-style-type: none"> ● 国内外の精神保健看護学における文献検討および自らの関心領域をふまえ、研究課題を焦点化し、修士論文への一連の研究プロセスを教授する。
在宅看護学	<ul style="list-style-type: none"> ● 在宅看護学及び在宅看護教育を研究テーマとする研究課題をもとにした修士論文への一連のプロセスを教授する。
公衆衛生看護学	<ul style="list-style-type: none"> ● 乳幼児期から高齢期に至るまでの地域で生活する対象者が、健康不健康を問わずあらゆる健康レベルの健康課題に対して、所属する地域組織・企業・学校・家庭等の環境集団の特性や特徴を踏まえて、生涯を通じたHealth Promotion活動を主体的に実践できるように保健指導の知識や技術・実践に関する研究テーマについて、修士論文作成の一連の過程を教授する。

看護学研究科修士課程の特徴

シミュレーション教育を体系的に修得できる教育課程

シミュレーション教育の基盤となる看護教育学の知見を深め、シミュレーション教育の基本・シナリオ設計、指導技法を体系的に学び、必要な知識・技術・態度を修得できるプログラムが特徴です。

具体的には、「看護教育学特論」で看護学教育の基礎となる諸理論や教育課程の構築、教育評価等について知見を深め、「看護シミュレーション教育学特論」「看護シミュレーション教育学演習」を学修します。



充実した教育・研究環境

2016年に開設したシミュレーション教育センターは、病院や在宅場面などの現場を模擬的に再現した中で繰り返しながら学ぶことができる施設です。2021年にはOSCEセンターも併設し、看護職に求められる知識・技術・態度の統合を体験しながら、教育者・指導者としての学びを深めることができる環境です。

図書館やネットワーク環境も完備されており、大学院研究室では自身の研究課題に取り組むことができます。



研究分野を超えた指導体制

2017年度より全看護領域でシミュレーション教育を導入しており、各領域のシミュレーション教育の教育者・研究者からの指導が受けられます。シミュレーションの実践報告や情報交換など研究分野を超えた視点から助言を受けることができ、自身の研究課題を発展させることが可能です。



入学者受け入れ方針 [アドミッション・ポリシー]

- 1 協働性とリーダーシップを備え、自ら進んで看護専門分野の課題に取り組む意欲がある人 (主体的な学び・協調)
- 2 看護専門分野の基礎知識を持ち、看護学教育におけるシミュレーション教育に対して、関心を持つ人 (知識・理解)
- 3 物事を多面的に捉え、適切な判断ができる人 (適用・分析)
- 4 研究マインドを持ち、論理的思考と柔軟な発想を持つ人 (実践・評価・創造)

学びのサポート

安心して学べるサポート体制があります。

昼夜開講制

授業は昼夜開講としており、フレキシブルな履修プランを立てることが可能です。社会人学生の勤務状況を考慮して、授業日を夜間または平日の週1日に集中させています。

オンライン授業

eラーニングを活用したオンライン授業を行います。自宅や職場などインターネット環境があれば、場所や時間に縛られることなく、自分のペースで学ぶことができます。

ティーチング・アシスタント

学部の教育補助業務を行っていただく制度です。手当支給があり、学業に専念するとともに、指導者としてトレーニングの機会を提供することを目的としています。

長期履修制度

働いていて授業に出席できる日数が足りないなど、様々な事情で標準の修業年限(2年)では修了することが困難となる方を対象に、長期(3年又は4年)にわたり計画的に教育課程の履修を認める制度です。仕事を休職・退職することなく、安心して学ぶことができます。

リサーチ・アシスタント

研究プロジェクト等に研究補助者として参画してもらい、研究遂行能力の育成を図ることを目的とした制度です。

学費・入試の詳細情報

学 費

入 学 金	300,000円
授 業 料	700,000円 (年額)
施設設備費	200,000円 (年額)

※長期履修制度を利用する場合は、2年分の授業料・施設設備費を、在学期間(3年間又は4年間)で除した金額を分割納入することとなります。

2024年 入試情報

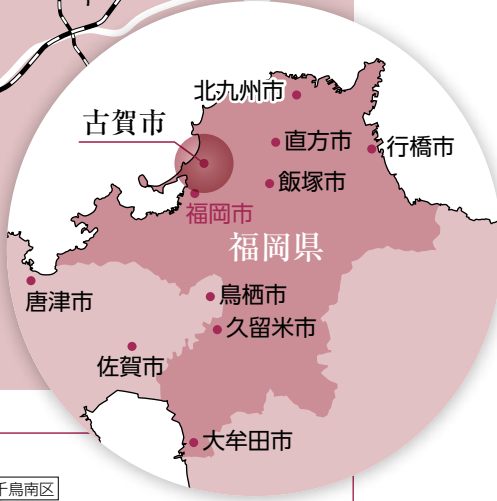
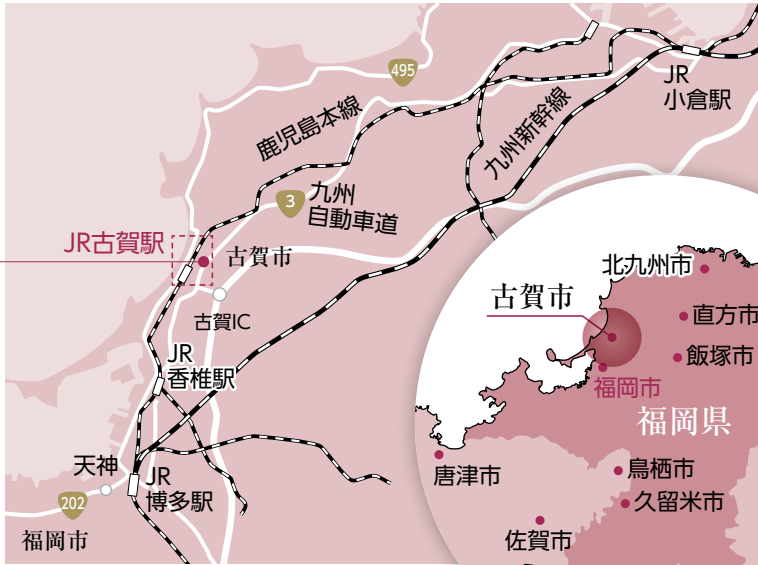
出 願 期 間	2023年 7月 3日(月)~8月10日(木)
試 験 日	2023年 9月 30日(土)
合 格 発 表	2023年 10月 6日(金)
試 験 科 目	学力試験 (筆記) 看護専門分野、小論文 (英語含む) 面接試験
入 学 検 定 料	30,000円


募集要項・出願書類の
ダウンロード





事前相談の
詳細はコチラ





- 
電 JR鹿児島本線 古賀駅下車 徒歩約15分
車 (博多駅から快速19分/小倉駅から快速45分)

- 
バス 福岡方面から 西鉄バス 天神日銀前発
ス 都市高速経由 赤間方面行き急行約40分、久保団地入口下車 徒歩約12分

- 
自動車 九州自動車道古賀インターから約5分
 (国道3号線「流」交差点を市街地方面に左折、「千鳥南区」交差点を左折後左手)



福岡女学院看護大学大学院

GRADUATE SCHOOL OF FUKUOKA JO GAKUIN NURSING UNIVERSITY

〒811-3113 福岡県古賀市千鳥1-1-7
 TEL:092-943-4174
 URL: <https://ns.fukujo.ac.jp/>

